臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名　人工肛門を造設した高齢者のストーマケア習得への看護支援の現状　』

【研究の背景および目的】

近年、65 歳以上の老年人口の増加に伴い人工肛門造設術を受ける患者さんも高齢化しておりますが、高齢の患者さんは記憶力の低下や感覚機能の低下、運動機能の低下、手指の巧緻性の低下によりストーマケアの習得が困難となる場合があります。その際にはご家族などの支援者の方に対して知識提供と技術指導が必要とされています。

人工肛門増設術を受けた患者さんに対して病棟看護師は患者さんの退院後の生活を考え、患者さんもしくはその支援者の方にストーマケアが習得できるよう介入する役割があります。

そこで、東邦大学医療センター大森病院看護部では、ストーマケア習得に向け看護師が行った支援内容を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後高齢の患者さんが人工肛門造設術を受けた際のストーマケア習得に向けた看護介入の質向上につながると考えています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2012 年 4 月～2017 年 3 月までに東邦大学医療センター大森病院 3 号館 5 階西病棟で消化器外科を主科とした人工肛門造設術を受けた症例を対象としています。

診療録（カルテ）から抽出した情報を解析することにより調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院看護部
職位・氏名　看護師　坂本　葉月
電話　03-3762-4151　内線　6451
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hazuki-sakamoto@ns.toho-u.ac.jp